



エリート街道 向上の条件



「自分のテニス人生は雑草魂とハングリ―精神そのもの」―そう語るのは昨年9月に開催された日本スポーツマスターズ2022岩手大会テニス競技男子シングルスに初出場で準優勝された松永雅俊さん。

松永さんは、5年前に発症した脳脊髄液漏出症という難病を克服し、今回の好成績を納めました。この病気は髄液が漏れることで脳が下がり、激しい痛みやしびれなどを引き起こす診断が難しい病気で、松永さんの場合4つ目の病院でようやく脳脊髄液漏出症と診断されました。

闘病生活を過ごす中でこれからの人生を考えるように。幸いにも病気を克服でき、現在は勤めていた銀行を退職。昨年、自身で立ち上げたテニスサロンのコーチ兼プレイヤーとして県内各地で指導をする毎口を送られています。

「自分はジュニア時代から社会人になるまで強豪校やクラブなどに所属せず限られた環境の中、両親や個人コーチの指導、考え方・工夫・努力でここまで来ることができた。その経験を生かし、今の環境に悩んでいる人々には『エリート街道』に『向上の条件』という希望を、そして、難病を乗り越えた経験から、かつての自分と同じように病気や困難で苦しんでいる人々には勇気を与えられる、そんな存在になりたい」と真剣なまなざしで語る松永さん。今後の活躍も期待されます。

tennis salon 雅

松永 雅俊さん



Profile

まつなが・まさとし
昭和60年2月13日生まれ
旭が丘小6年の時に両親の指導を受け、本格的にテニスを始める。銀行員時代は実業団選手として活動し、国体に出場。現在は、テニスコーチであると同時にプレイヤーとしても県内で幅広く活躍。
市内在住。37歳。



クローズアップ

大村人

vol.40

このコーナーは、ふるさとを思いながら、市内外で活躍する大村人、を紹介していきます。

